

名詞＋「～になります」は、マニュアル丁寧語??

あるメル友から、次のようなメール。

【 「言い回し」 のことですが…。

「…になります」は商品案内でもよく耳にします。「こちらが、お客様のお探しのランタンになります」とか。

案内する際の丁寧語ということなのでしょうが、何か耳障りなのです。

スーパーやレストランでも注文品が運ばれる時にも「A ランチになります」とか「コーヒーになります」と言ってテーブルに置いていきます。

テレビでのドラマでも、同じように「～になります」がよく使われています。

この「になります」の使い方って正しいのかなあ…? どうして耳障りなのか? と。

日本語は美しい言葉です。正しく伝えるのも、私は必要と思っています。

阿部さんなら、教えてくださいかなあって。 】

当HPのタイトルは「雑学」とはいえ何でも当てにされては困るが、雑学的に次のように返信した(^\_^;)

【 自分は「～になります」はさして気になっていませんが、ネット等で調べると疑問を感じている人は結構多いようです。

「～に成ります」と漢字に変えてみると解るように、「”変化”を表す言葉」です。

ですから、形容詞＋「～になります」の「これから寒くなります」は適切な使い方と思う。

単に、名詞＋「～になります」はちょっとね。例えばレストランで「コーヒーになります」は、不適切かもね。

名詞＋「～になります」でも、「コーヒーに氷を入れて冷たくするとアイス・コーヒーになります」と言えば、状態変化ですから間違いではないでしょう。

(そうした意味では、「何もないテーブルに注文の品が置かれる」というテーブル上の状態変化からすると、一概に間違いとは云えないかも…??)

なぜ名詞＋「～になります」が最近多いかということ、コンビニ、ファミレス等の接客マニュアルで、名詞＋「～です」と名詞＋「～でございます」の中間の丁寧語として「～になります」が使われているからだと思われます。

つまり名詞＋「～になります」は、マニュアル敬語(マニュアル丁寧語)ということかな???

まあ、言葉の使い方は、その時代と共に変化するものだけに、現代のマニュアル社会化の一つの現象、一つの象徴ということかな? 】

「その人の使う言葉には、その人の思想が表われる」と言われることからすると、没個性のマニュアル丁寧語は使わない方がいいかも。